

電動フレアツール
品番 T A 5 5 0 S F



保証書付き



株式会社 **イチネン TASCO**

この度は、**TASCO** 電動フレアツールをご購入頂きまして、誠に有難うございます。ご使用に際しましては、この取扱説明書をよくお読み頂き、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

目次

安全上のご注意.....	2
各部名称.....	8
仕様.....	10
使い方.....	11
日常のお手入れ・点検.....	18
故障かな？と思ったら.....	20
保証書.....	22

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための注意事項を記載していますので、必ずお守りください。

■表示を無視して誤った取り扱いをした時に生じることが想定される危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「死亡や重傷などを負う可能性が想定される」内容です
 注意	「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です

■注意事項の種類を、次の絵表示等で区分し、説明しています。

(下記はその一例です)

	「 注意喚起 」：気を付けてください
	「 禁止 」：絶対に行わないでください
	「 強制 」：必ず指示に従い、行ってください。

※ご購入された製品によっては該当しない内容も一部記載していますのでご了承ください。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■一般的事項

警告



こんな時は作業しないでください。

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時
- 酒を飲んだ時
- 妊娠している時



作業に適した服装をしてください。

- 作業時は、安全靴、ヘルメット、防護服、防護メガネ、保護マスク、手袋等を着用してください。
(傷害事故等の原因になることがあります。)



水をかけたり、雨の降っている時や、湿気の多い時、雷の鳴っている時は使用しないでください。

(機械の故障、感電やけがをするおそれがあります。)



油煙、高低温、ほこりが多い場所では使用しないでください。

(機械の故障、事故によりけがのおそれがあります。)



高所作業の場合、命綱着用等の落下防止策を行ってください。

(運転時の反動で落下し、重傷を負うおそれがあります。)



ガソリン、シンナー等、可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。

(引火、場発のおそれがあります。)



作業中は人を近づけないでください。

(けがをするおそれがあります。)



作業中は現場を離れないようにしてください。

(作業員以外の方がけがをするおそれがあります。)



安全な作業環境である事を確認してください。

(けがをするおそれがあります。)

注意



取扱説明書をお読みください。

(傷害事故防止のため運転前、取扱説明書をよく読み、理解して正しく取り扱ってください。)



作業前・後は必ず機械の点検をしてください。

●使用の前と後に必ず機械の点検をしてください。

(整備不良による事故や機械の故障により、けがをするおそれがあります。)



機械の目的外使用及び改造・分解の禁止。

●この機械は銅管の管端をフレア加工する機械です。機械の目的外使用及び改造・分解は行わないでください。

(機械の故障、事故によりけがのおそれがあります。)

■電気に関する事項

警告



電池を絶対に分解したり、接点を短絡させたりしないでください。

(電池破損による火災、人身事故の原因となるおそれがあります。)



電池を落下させたり、粗暴な扱いをしないでください。

(電池破損による火災、人身事故の原因となるおそれがあります。)



電池は必ず専用ケースに収納し、金属とは一緒にしないでください。

(工具、端子等の金属で電池接点が短絡し、火災、人身事故の原因となるおそれがあります。)



使用しないとき、停電時はコンセントから電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜くときは、電気ケーブルを引っ張らず必ず電源プラグを持って抜いてください。

(火災・感電の原因になるおそれがあります。)



濡れた手で、電源プラグやスイッチに触れないでください。

(感電や事故の原因となるおそれがあります。)



専用の充電器や、電池を使用してください。

(電源部品の損傷により事故やけがのおそれがあります。)



電池は充電器に最後までしっかりと接続してください。

(電源部品の損傷により事故やけがのおそれがあります。)



充電器は指定の電圧、周波数で使用してください。また発電機、車のシガーソケットで充電しないでください。

(電源部品の損傷により事故やけがのおそれがあります。)



電気ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたりはさみ込んだりしないでください。

(充電器が破損し、火災、感電事故の原因になるおそれがあります。)



油煙、高低温、ほこりが多い場所では充電しないでください。

(電源部品の損傷による事故やけがのおそれがあります。)



充電後は放置せず、充電器から電池を取り外してください。

(充電器破損による火災、感電事故の原因となるおそれがあります。)



電池は火への投入、加熱をしないでください。

(電池破損による火災、人身事故の原因となるおそれがあります。)



電池は家庭ごみとして廃棄しないでください。

●電池はリチウムイオン電池を使用しています。リサイクルにご協力ください。端子部に絶縁テープを貼り、販売店にご持参ください。



電池の液が漏れたときは素手で液を触らず以下の処置をしてください

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流したあと、医師にご相談ください。
- 液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。

■運搬、設置、保管に関する事項

警告



機械には子供や動物が近づかないようにしてください。

(機械にさわったり、動かしたりして、けがをするおそれがあります。)

注意



衝撃、落下に注意してください。

(機器の故障の原因となります。)



油煙、高低温、湿気、埃が多い場所等での保管はしないでください。

- 専用ケースに入れ、温度の湿度の高い場所、屋外などの濡れる場所、子供や動物が近付ける場所で保管しないでください。
(機器の故障の原因となります。)

■その他

注意



指定の付属品を使用してください。

(機器の故障、事故によりけがのおそれがあります。)



本体や充電器の風穴はふさがないでください。

(やけどや異常過熱により、発火するおそれがあります。)



必ず本体から電池を取り外して準備／点検をしてください。

（不意に動作して事故になるおそれがあります）



異常を感じたら、すぐに使用を中止してください。

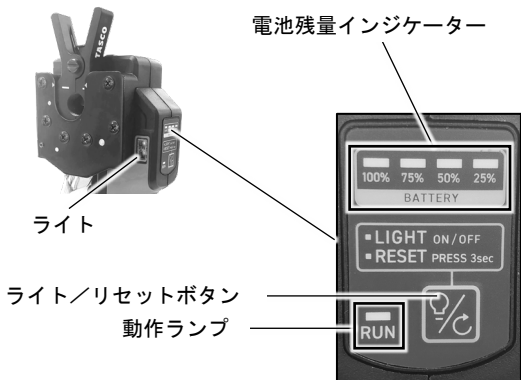
●異臭、振動、異常音、発熱、発煙等に気付いた場合は直ちに機械の運転を中止してください。

（機器の故障、事故によりけがのおそれがあります。）

各部名称



- ① 本体
- ② 電池【TA550SF-10】
- ③ 充電器【TA550SF-20】
- ④ キャリングケース
- ⑤ クランプ（1/4”、3/8”、1/2”、5/8”、3/4”）
※5/8”、3/4” はオプション品



ライト／リセットボタン：

- 短押しすると電池残量インジケーターとライトが点灯
- 再び短押しするとライトが消灯
- 加工途中で停止した時などに長押しすると、フレアコーンがスタート位置まで戻る（リセット）

仕様

(本体)

適合 銅管	一般冷媒配管用銅管（0 材、0L 材）（なまし銅管）					
	呼び	1/4"	3/8"	1/2"	5/8"	3/4"
	外径 (mm)	6.35	9.53	12.70	15.88	19.05
フレア 形状	45 度フレア 新冷媒 2 種対応（R410A、R32 対応） JIS B 8607 に記載されている形状					
加工 形状	偏心式（定圧押付回転方式）					
動力	直流モーター					
コーン 回転数	120rpm					
加工可能 回数	3/8" で約 100 回／充電					
加工時間	15－20 秒（銅管サイズ、電池残量により異なります）					
質量	1260g ※電池装着時：1380g					
サイズ	L100 X W103 X H224mm ※電池装着時：H255mm					
使用環境 温度	5～40℃					

(電池：TA550SF-10)

種類	リチウムイオン電池
電圧	7.4V
容量	2.0Ah
充電時間	約 30 分
充電可能温度	5～40℃

(充電器：TA550SF-20)

対象電池	リチウムイオン電池 (TA550SF-10) 7.4V
入力	AC 100V (50/60Hz) 50W
出力	8.3V 3.5A
充電可能温度	5~40℃

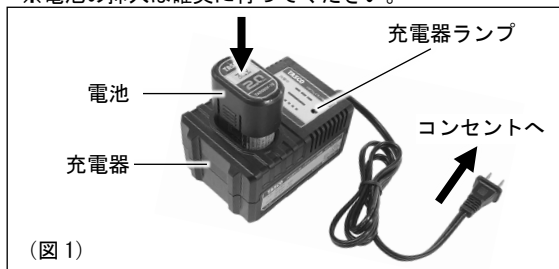
使い方

1. 充電

- 1.1 充電器のプラグをコンセントに挿し、電池を充電器に挿入してください。(図1)

※電池を挿入前に、充電器、電池の端子部に異物がないことを確認してください。

※電池の挿入は確実に行ってください。



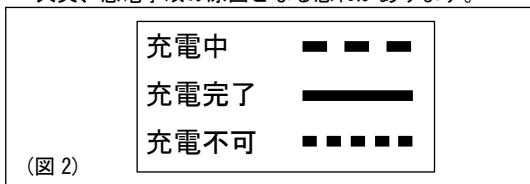
1.2 充電器のランプが橙色点滅し、充電を開始します。

ランプが橙色点灯すると充電完了です。

※電池の充電状況は、充電ランプを確認してください。

(図 2)

※すぐに橙色が点灯する、橙色が点灯しても本体が動かない場合は電池の寿命がきた可能性があります。寿命がきた電池を充電し続けしないでください。破損による火災、感電事故の原因となる恐れがあります。

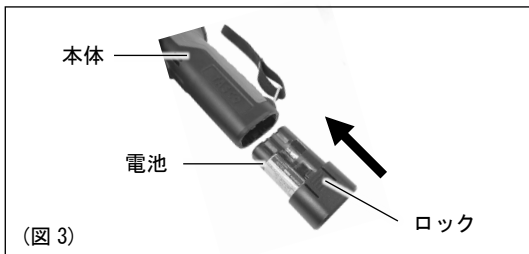


1.3 充電完了後、充電器から電池を外し、本体に確実に取付けてください。(図 3)

※電池を挿入前に、本体電池挿入部、電池の端子部に異物がないことを確認してください。

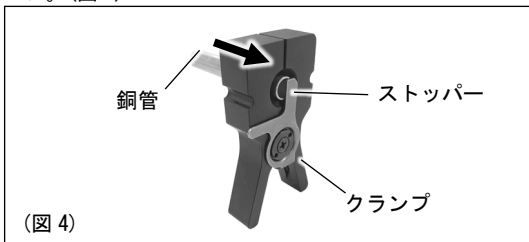
※電池のロックが確実にかかるように、しっかりと奥まで挿入したあと、電池が簡単に抜けないことを確認してください。

※電池を抜くときは、電池両側のロックを押しながら引き抜いてください。



2. セッティング方法

- 2.1 銅管サイズに合ったクランプを用意して、銅管の端をストッパーに押し当てながらクランプを閉めてください。(図 4)



※銅管に変形、バリ、傷がないことを確認してから取付けてください。配管後漏れの原因となります。

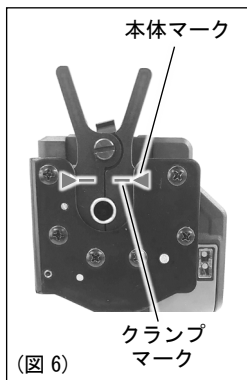
※銅管の状態によってはセットするとクランプが閉まりきらず、本体にセットできない可能性があります。その時はクランプ両側から押して可能な限り閉めるようにしてください。

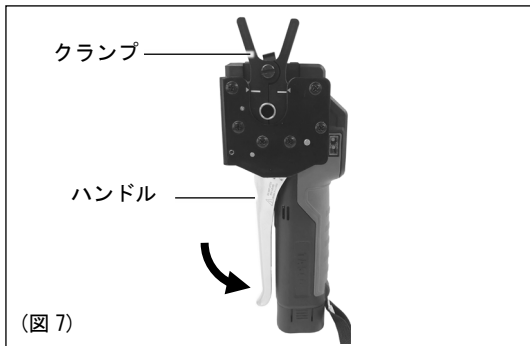
※ストッパーはあくまでも規格を満たすための目安であり、銅管の切断面やバリ取りの大きさにより、フレア加工後の銅管が規格を満たすことができない可能性があります。規格を満たすことができない場合は、銅管のセット位置をずらして行ってください。銅管をクランプより飛び出させると、フレアの大きさは大きくなり、銅管をクランプより凹ませると、フレアの大きさは小さくなります。フレア後には必ず寸法を測定し、規格内であることを確認してください。

2.2 銅管をセットしたクランプを本体に挿入してください。

(図 5)

クランプマークが本体マークと一致している事を確認してから(図 6)本体のハンドルを握り、クランプをしっかりと固定してください。(図 7)





(図 7)

※本体のフレアコーンが完全に戻っていないとセットできませんので、フレアコーンが元に戻っていない場合は、リセットボタンを長押ししてください。

※クランプマークがずれた状態でハンドルを無理やり握ると本体、クランプが破損する可能性があります。クランプは奥まで確実に挿入し、クランプマークが本体マークと一致している事を確認してからハンドルを握ってください。

3. フレア加工

- 3.1 本体をしっかり持ち、スタートボタンを押してください。フレア加工が始まります。フレアインジケータが消灯すると加工が終了になります。(図 8)

※フレアの加工中にハンドルを解除すると、途中で加工が止まりますのでご注意ください。フレアコーンを元に戻すにはリセットボタンを長押ししてください。

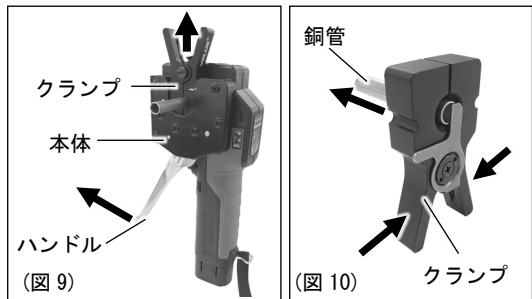
※電池が切れる寸前の状態でフレア加工すると、フレアコーンを戻す力がなくなり、クランプが取り外せなくなる可能性があります。早めに充電してください。



4. 銅管の取り外し

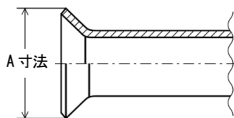
4.1 本体のハンドルを解除して、本体からクランプを外してください。(図 9)

4.2 クランプを開き、銅管を取り外してください。(図 10)



銅管仕上がり寸法（参考）

フレア加工寸法規格（JIS B 8607）



呼び	呼び径 (mm)	A 寸法 (+0, -0.4)	
		R410A (mm)	その他 (mm)
1/4"	6.35	9.1	9.0
3/8"	9.52	13.2	13.0
1/2"	12.70	16.6	16.2
5/8"	15.88	19.7	19.4
3/4"	19.05	24.0	23.3

※その他とは、R407C、R404A、R507A、R134a、および従来冷媒を指します

⚠ 注意

正しくフレア加工を行うために

- 銅管をセットせずに起動しないでください。（空打ち禁止）クランプが損傷する可能性があります。
- 銅管を切断時に変形させないでください。
- 変形した銅管を使用しないでください。
- 銅管を切断する時はまっすぐに伸ばして、よく切れるカッターを使用してください。
- 切断後の銅管は必ず切断時のカエリを取り、チューブリーマ等で確実にバリ取りを行ってください。これを怠ると、正常なフレア面が得られなくなり、ガス漏れ原因となります。
- 銅管やフレアコーン・クランプに付着した銅管かす等の不純物は、必ずフレア加工前に取り除いてください。
- 古くなり著しく硬化した銅管は、まれにフレアができなかったり、割れが発生する場合がありますので使用しないでください。
- フレア後は、必ずフレア面に異常はないか、フレア寸法が適切か確認の上、配管作業を行ってください。

- フレアユニオンに接続する場合は、フレア面と管内部に不純物や油等が付着していないか確認の上、作業を行ってください。
- フレアの形状や寸法は、銅管の切断状態やクランプへのセット位置により変化します。フレア加工後は必ず適切なフレア加工ができているかを確認の上、配管作業を行ってください。
- 配管接続後、お客様の責任において必ずガス漏れ検査を実施し、ガス漏れの無いことを確認願います。

日常のお手入れ・点検

※お手入れ・点検を行う時は必ず電池を本体から取り外し、作業をしてください。

※濡れた布やシンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性のものは使用しないでください。

※分解、改造はしないでください。

- ・各部ねじが緩んでいないか、定期的に点検してください。
緩んでいるところがありましたら、締めなおしてください。
- ・表面の汚れ、埃などの付着がありましたら、乾いたやわらかい布などで拭いてください。
- ・フレアコーンについた不要な銅管かすは、ワイヤブラシなどで取り除いてください。その際、フレアコーンには傷をつけないように注意してください。
- ・クランプ挿入部に溜まった銅管かすは、すぐに取り除いてください。
- ・長時間使用しない場合は、電池を本体から取り外して保管してください。

ハンドルロックの締め付け方法：

正常にクランプしても仕上がり径が小さくなる、明らかに銅管が滑っている場合は、ハンドルロックの調整ねじが緩み、クランプを固定する力が弱くなっている可能性があります。調整ねじを締め付けることで、クランプ固定する力を強くすることができます。

(図 11)

1. ロックナットを緩めてください。(六角レンチ 2mm)
2. 調整ねじを約 30 度ずつ時計回りに回して、締め付けを確認してください。(六角レンチ 5mm)
※調整ねじを締めすぎると本体、クランプが破損する可能性があります。ご注意ください。
3. ロックナットを締め付けてください。



(図 11)

故障かな？と思ったら

製品に異常が生じたときは下表をご確認いただき、該当する項目で改善しない時や該当する項目がない時は、**直ちに使用を中止し**、販売店または当社ご連絡ください。

状況	原因	処置
フレアの形状が小さい	銅管端面にバリが残っている	確実にバリを取り除く
	銅管端面がストッパーから離れている	クランプ同一面に合わせ銅管をセットする
	ハンドルロック調整ねじが緩んでいる	調整ねじを締付ける (図 11)
	パワーが弱い	電池を充電、または交換する
フレアの形状が大きい	銅管端面がストッパーより飛び出ている	クランプ同一面に合わせ銅管をセットする
フレア内面にリング形状の傷が残る	銅管端面にバリが残っている	確実にバリを取り除く
	パワーが弱い	電池を充電、または交換する
フレア内面に縦傷、くぼみなどの傷が残る	銅管内面にバリ取り時の傷が残っている	銅管内面に傷がつかないように、バリ取りを行う
	銅管内面、フレアコーンにゴミ、切粉などが付着している	ゴミ、切粉を取り除く
	クランプが損傷している	クランプを交換する
	パワーが弱い	電池を充電、または交換する

フレア外面に大きな突起がある	ハンドルロック調整ねじが緩んでいる	調整ねじを締付ける (図 11)
	クランプに段差が生じている	クランプを交換する
フレアが左右対象でない	斜めに切断された銅管をフレア加工した	銅管を直角に切断する
	扁平や曲りのある銅管をフレア加工した	扁平や曲りのない部分をフレア加工する
	クランプが損傷している	クランプを交換する
ボタンを押してもフレアコーンが動かない	電池が充電されていない	電池を充電、または交換する
	電池と本体の間に絶縁物が付着している	絶縁物を取り除く
	電池の寿命	電池を交換する
	基板が故障している	販売店または当社へ連絡する
フレアインジケータースが周期的に1回点滅する	短絡している	販売店または当社へ連絡する
フレアインジケータースが周期的に2回点滅する	電池が認識されない	電池を交換する
フレアインジケータースが周期的に3回点滅する	過熱または過冷却された電池	電池を冷却する、または暖める
フレアインジケータースが周期的に4回点滅する	過負荷またはフレアコーンがリセットできない	販売店または当社へ連絡する
充電器インジケータースが速く点滅する	電池が破損している	電池を交換する

保証書

TASCO 製品をお買い上げ頂き有難うございます。保証期間内に通常のお取扱いで万一故障が生じた場合は、下記の保証規定により無償で修理致します。この保証書を添付の上ご依頼ください。

保証規定

保証期間中に生じた故障は、下記の場合を除いて無償で修理致します。

1. 取扱説明書によらない不適切な取扱い、使用方法、保管方法が原因で生じた故障
2. 購入後の運搬や輸送の間に、落下させる等異常な衝撃が加わって生じた故障
3. 当社もしくは当社が委託した技術者以外の改造、修理、分解が原因で生じた故障
4. 火災、地震、水害、公害及びその他の天変地異が原因で生じた故障
5. 傷などの外観上の変化
6. その他当社の責任とみなされない故障
7. 電池などの消耗品の交換、補充
8. 保証書の提示がない場合

品名	電動フレアツール
品番	TA550SF
製造番号	
保証期間	購入日：(年 月 日) より1年間
お客様	氏名：
	住所：
	電話番号：
販売店	店名：
	住所：
	電話番号：

◎注意事項

- 二次的な災害におきましては本製品の故障による場合でも保証できませんのでご注意ください。
 - 当社で故障の状態を確認し、上記に該当する場合有償修理となります。
 - 輸送中に損害が生じないように梱包し、当社はもしくはご購入販売店にお送りください。
 - 上記の保証規定をよくお読みください。
 - この保証書は日本国内のみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
 - この保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。
- ※販売店様へお手数ですが必ず記入の上お客様へお渡しください。



株式会社 イチネン TASCO

TASCO
High Quality Products



株式会社 イチネン TASCO

〒577-0002 大阪府東大阪市稲田上町1-17-20

TEL.06-6748-9260 FAX.06-6748-9270

<http://www.tascojapan.co.jp/>

この製品の使用方法に関する技術的なご質問は
タスコカスタマーサポートセンターへ
TEL: 06-6748-9240